

## 幸せな結婚って…？



今度、友だちが結婚するんですけど、幸せになってほしいです。



そうだね。ところで、憲法では結婚についてこんなふうにかかれていて、知ってる？



### 日本国憲法 24条 (抜粋)

婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。



「両性の合意のみ」とか、「同等の権利」とか難しいです。



小郡市には、こんなご夫婦、こんな人たちがいらっしやるよ。ちょっと考えてみよう。

### 外国人の人權と結婚

私が、日本人の彼と結婚したいと思った時、韓国の母や兄姉たちは、反対しませんでした。しかし、日本と韓国の歴史的背景を考え、心配しました。2つの国に婚姻届を出して日本人の配偶者になっても、二人そろって日本で暮らすまでには、1年以上もかかりました。在留証明書発行や審査等があるからです。現在、日本の永住権はもっていますが、私たちが我が子も、両国の文化を大切にしたいので、私は韓国籍です。日本人と結婚しても外国籍のままだと、税金は払っても選挙権などの市民権はまだ十分ではありません。

日本で暮らし始めて、一番もどかしいのは、言葉の壁です。会話はできても、自分の伝えたいことを的確に書き表すことはできません。子どもを病院に連れて行き問診票を書く時など、書いたことが十分に伝わるか不安です。

日本人の彼と結婚し日本で暮らして、今、幸せです。それは、私たちが互いに人として認めたり、ちがいを尊重したりして暮らしているからです。また、実際に日本で暮らし、いろいろな日本人と関わり、韓国で見聞きした『日本』ではない『日本』が分かったからです。もしかしたら、日本人にとっての『韓国』も同じかもしれません。

今後、小郡市が、国際結婚をした人にとっても、さらに“暮らしやすいまち小郡”になってほしいです。



## 部落問題と結婚

初めて会った時は互いに、「愛想がないな…」という印象でした。けれど、そのうちお互いの内面がわかり、「一緒にいて疲れない相手だな。」と思いました。結婚した後、彼女から被差別部落出身であることを聞きました。その時は、自分自身に部落問題についての知識もないし、マイナスイメージもなかったです。

子どもが生まれ、大崎保育所に預けました。保護者学習会などで、少しずつ部落問題や人権問題について学ぶ機会があり、彼女と人権・部落問題について話すことも、増えました。また、保育所では、子どもたち一人ひとりをよく観て、深く関わり育ててくれました。そんな中で、子どもたちは、素直に育っているな…と感じています。

最近、実家の親が、部落問題についてまちがった見方・考え方をしていることがわかりました。彼女と出会っていなかったら、自分も気づかずに、部落差別をする人になっていたかもしれません。今、親と向き合うことで、部落問題は自分にとっての問題でもあると感じ、正しく学ぶことが大切だと考えるようになりました。

## 障がい者の人権と結婚

私には、今、付き合っている人がいます。時期が来たら、その人と共に人生を歩みたいと思っています。

私は、小学6年生の卒業前に、国語で学習した物語が、ずっと心に残っています。『きいちゃん』という物語です。それは、私にも障がいのある兄がいるからです。彼は兄と会うと、一緒にゲームをしたり、コミュニケーションをとったりします。兄も、彼と会うのを楽しみにしています。

彼は「大丈夫」と言うけれど、彼の親や親戚が、兄のことをどんなふうと思うのか…、そして共に育った兄のことを考えると、苦しくなります。

※『きいちゃん』山元加津子 作…きいちゃんは、養護学校高等部に通っています。お姉さんの結婚式がもうすぐあり、出るのを楽しみにしていましたが、お母さんから「結婚式に出ないでほしい」と…。お姉さんや式に参加している周りの人を考えての言葉でした。



## 幸せな結婚って…

二人が、一つの家庭を築き、安心して共に人生を歩んでいくこと。二人が、

結婚した二人に 同じように権利が保障され、  
自分たちらしく歩んでいく二人を温かく見守る社会を  
築いていきたいですね!!